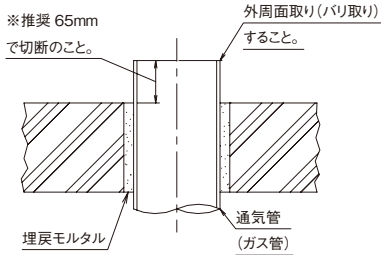
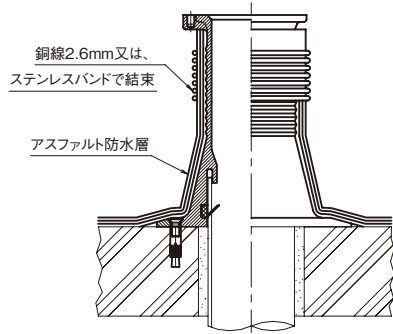


防水継手 (WSC・WSB・WSK) の施工方法 (施工例)

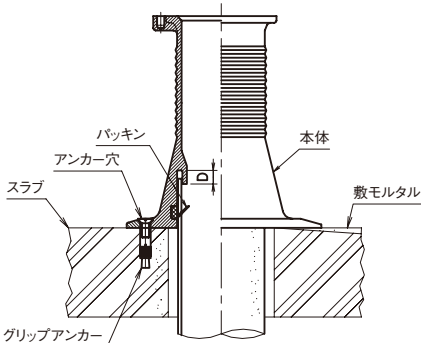
1. 通気管を設置し、モルタルで埋め戻す。
 - ・管はスラブ上より65mm程度に切断する。
(切断許容範囲：62～70mm以内)
 - ・管の端部はカエリの無いように面を取る。
 - ・管は垂直に立ち上げる。
 ※管は±3°以内に設置する。



3. 防水層工事
 - ・防水層を本体に巻き上げ、銅線等で縛り付ける。



2. 防水継手本体を通気管に差し込む。
 - 1) 本体底面とスラブ面のすわりが悪い場合、モルタルをスラブにのせる。
 - 2) パッキンに石鹸水を付けて、本体を管に挿入する。
 - 3) 本体のアンカー穴から、スラブ面にマーキングする。
 - 4) 一度、本体を外し、グリップアンカー (M10) を打込む。
 - 5) 再度、同様に本体を挿入し、アンカーボルト (皿ねじ) で固定する。
 ※管の端部が、本体のD部に収まっているか手鏡などで確認する。



4. カバーの取り付け断熱材、緩衝材の順に設置し、シンダーコンクリートを打設した後
 - 1) 本体にカバーを取り付ける。
 - 2) 調節管にベントキャップを取り付け、カバーに差込みボルトで固定する。
 ※施工完了

